

私の収集癖

大槻 弥生

OTSUKI Yayoi

(株)奥村組
東日本支社土木技術部



私には今年で15年目に突入した収集癖がある。
趣味といえば趣味の一環なのだが、何に利用する訳でもなくただ撮り溜めているだけなので、収集癖という方がしっくりくるのかもしれない。

その収集癖とはマンホールカバー（要するに蓋）の写真を集める事で、地方へ出かけて行ってはその土地ならではのデザインを施された蓋たちをせっせと撮影し悦に入っている。

はっきり言って、変り者である。

もともと、旅行が好きで何かにつけて出かけてばかりいたのだが、2002年に岡山へ出かけた時に出会いがあった。

岡山といえば、正直に書くと後樂園・桃・桃太郎ぐらいしか思い浮かぶものがなかった。

では、なぜ出かけたのかといえば単純な話で安い航空券が手に入ったから。

そんな訳で特に何がしたいわけでもないふわふわした気分で行き立ち、目についたそれに心を鷲掴みにされた。

【お供を連れた桃太郎の蓋】である。

2度見した。写真を撮った。小躍りもしたかもしれない。

とにかく、すべての始まりがそこからだった。



写真1

この桃太郎の蓋は結構有名らしく、最近ではグッズも出てたりしているから驚きである（写真1）。

それから、何年かは旅行に行った先で蓋の写真を撮影するという日々だった。

基本的に旅行が好きなので、安いツアーやらチケットやらが取れるといそいそと出かけていた。

目的が徐々に変わってきたのはそれから6年ほど経ってからだったろうか。

きっかけは年賀状で、せっかくユニークな蓋なんだから皆に見せよう！と蓋を散りばめた年賀状を作成した（写真2）。

友人だろうが、親戚だろうが、上司だろうがお構いなしにその年賀状を出した。

次の年には、たまたま牛柄の写真を撮影していたため、干支を入れたらより年賀状っぽい？と思い付き牛柄の蓋を中心にした年賀状を作成した。

ここまではまだ良い。

問題は次の年で、11月頃になっても虎柄の蓋が手元に1枚しか無かった。

これでは年賀状には弱すぎる。

誰も頼んでもいないのに、一人でもっと年賀状らしさを出すために虎の蓋を探さなくては！と奮起した。



写真2



写真3



写真4



写真5

調査の結果、伊豆の方に虎の蓋がある事がわかり12月の半ばに大慌てで撮影しに行く事にした。

他にも多摩動物園に虎の描かれた蓋があるというので、出かけて行った。

これは電気関係の蓋だったが、まあ蓋には違いない。

更に、綺麗に彩色された蓋だったので年賀状には持って来いの写真が撮れた（写真3）。

そんな事があって、年末の干支探しがすっかり恒例行事になってしまった。

去年は11月の3連休を利用して九州へ申を探しに（写真4）。

一昨年は、雪の降る北海道、更には大阪にも出かけて行った。

北海道は結構な降雪で、探すのに若干手間取りはしたが色の綺麗な蓋が撮影できた（写真5）。

3年前は比較的近場で、群馬のあたりを回って満足のいく撮れ高が確保できた（写真6）。

年末に必要なのが分かっているのだから、計画的に回ればいいのだが、毎年同じ事をしている。

出来れば、偶然の出会いでおさめた写真を使いたいという希望がどうしても捨てきれないのかもしれない。

去年も10月に宮城の方を回った際に、猿の蓋があればあ……と内心期待しながら回ってみた。

すると、偶然にも【申】と漢字で書かれたハンドホールの蓋が見つかった（写真7）。

思惑とはちょっと違ったけれど、こういう事があるから面白いのである。

基本的に、偶然の出会いで写真におさめるようにしていたのだが、最終的にはすべての市町村を写真に収めることが目標なので最近狙って撮りに行くのもありという事になっている。

どの土地もいずれは訪れなければいけない土地なのだから。

これまで約3,000枚前後の写真を撮影しているが、訪れたことがない市町村は5割弱（図1）。

県レベルではとりあえず去年すべて回り終わったものの、まだまだ道のりは長い。



写真6



写真7

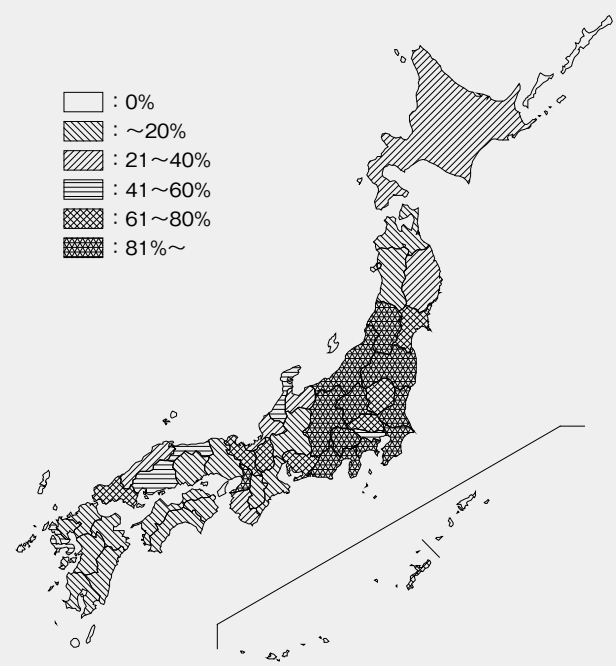


図1